

議会答弁事項の対応状況調書

令和4年 第6回定例会	議員名	荒木 俊彦		
質問年月日	令和4年9月13日			
質問項目	4. DV 被害者への支援体制として、町営住宅の要項等の改正が必要ではないか。			
<p>【質問要旨】</p> <p>(1) DV 被害者などの支援体制として町営住宅の目的外使用の要項の作成が急務ではないか。</p>				
担 当 部	都市整備部	担 当 課	都市計画課	
<p>【答弁要旨】 【答弁者：都市整備部長】</p> <p>DV 被害者の住まいの確保は重要な問題。被害者の居住の安定を図り、その自立を支援していきたい。</p>				
【対応方針・進捗状況】	対応済（令和 年 月 日）	対応中	実施不可	
<p>【令和5年9月1日現在】</p> <p>DV 被害者について、町営住宅を一時避難場所として活用できるように要項案を作成しました。法制担当部署との調整終了後、速やかに改正を行いたいと考えています。</p> <p>また、住まいの確保“後”の支援体制についても、ある程度方針が固まった状態にあります。</p> <p>さらに、DV 被害者だけではなく、生活困窮者や犯罪被害者を含めた住まいの確保支援が必要ではないかと関係部署から提案があり、支援体制の構築について、関係部署と課題を出し合い、対応策の整理を進めているところです。</p>				

議会答弁事項の対応状況調書

令和4年 第8回定例会	議員名	荒木 俊彦		
質問年月日	令和4年12月12日			
質問項目	2 町民のための施設使用料の改善を求める			
<p>【質問要旨】 (1) 町の公民館などの施設使用料が住民福祉に沿っているかの検討をすべきではないか。例えば、中央公民館、オークスプラザの使用料を30分間隔で設定する改善を求めたい。</p>				
担 当 部	教育部	担 当 課	生涯教育課	
<p>【答弁要旨】 【答弁者：教育部長】 教育施設の利用時間について30分単位での利用時間の設定については、今後、利用者へのアンケート等を行いながら調査・検討していきたい。</p>				
【対応方針・進捗状況】	対応済 (令和5年9月1日)	対応中	実施不可	
<p>【令和5年9月1日現在】 6月初めから7月末にかけて町内5箇所の生涯学習施設（公民館・図書館・伝承館・町民交流施設・町運動公園）を利用する団体を対象にアンケートを実施しました。 結果、76団体から回答があり、1時間単位を希望する団体が59団体、30分単位を希望する団体が12団体でした。1時間単位を希望する団体の主な意見は、「細かく設定し過ぎると煩雑になるため、1時間単位が適当である」。 また、30分単位を希望される団体の意見は、「30分間の延長の際には助かる。この30分を準備、片づけに充てたい。」等の意見がありました。 以上の結果を踏まえ、これまでどおりの1時間単位での貸し出しで進めてまいります。</p>				